



静岡県公立大学法人

静岡県立大学短期大学部
UNIVERSITY OF SHIZUOKA JUNIOR COLLEGE

出前講義 内容一覧

静岡県立大学短期大学部では、中高生の進路選択支援の一環として「出前講義」を行っています。出前講義では、本学教員が専門分野について、中高生にも分かりやすく講義を行います。

実施方法についてはご相談ください。学校への訪問、本学への来学、またはオンラインなど、ご希望に応じて柔軟に対応可能です。最適な形式で実施できればと考えています。生徒の皆さんには大学教員による講義を体験することで、大学生活のイメージを持つことができるでしょう。進路選択の参考にしていただければ幸いです。

- ▶ 一般教育等 p. 1
- ▶ 歯科衛生学科..... p. 3
- ▶ 社会福祉学科（社会福祉専攻・介護福祉専攻） p. 5
- ▶ こども学科 p. 8

一般教育等 出前講義

▶ 林 恵嗣 (HAYASHI, Keiji)

1. 「熱中症とその対処法」

熱中症とはどのようなものか、その予防法や対処法等を説明します。

2. 「日常生活から考える呼吸・循環調節」

なぜ激しく呼吸をすると頭がフラフラするのか？なぜ血圧は上腕部から測定しているのか？等、身近にある事柄からヒトの呼吸や循環の調節システムを学びます。



▶ 竹下 典子 (TAKESHITA, Noriko)

1. 「小腸の栄養素吸収機構」

小腸腸管上皮で栄養素が吸収される仕組みについて解説します。

2. 「摂食行動と消化管」

生物はそれぞれの食性に合わせて消化管を適応させてきました。生物の進化や摂食行動に合わせた消化管の特徴について紹介します。



▶ 有元 志保 (ARIMOTO, Shiho)

1. 「作家にとってのペンネームとは？」

作家はなぜペンネームを使用するのでしょうか。特に異性のペンネームを使用する意図について、イギリスの19世紀の小説家の事例を中心に考察します。

2. 「英文学作品の原文にふれる」

イギリス、アイルランド等の短編小説を、翻訳の助けを借りながら原文で読み、作品をより深く味わいます。



▶ 高田 佳輔 (TAKADA, Keisuke)

1. 「社会調査とは何か？」

現在まで、多様な社会現象を解明するために、さまざまな社会調査が行われています。郵送調査やインターネット調査など、近年行われている社会調査の特徴について概説します。

2. 「オンラインゲームのメリット・デメリット」

近年、プレイヤーがゲーム内で協力しながら目標の達成を目指すオンラインゲームが注目されつつあります。具体的には、当該ゲーム内での他者との協力経験が現実にはどのような影響を及ぼすか、ということに焦点が当てられてい



ます。この近年の研究内容を概観することで、オンラインゲームのメリット・デメリットの両側面を学びます。

▶ 上田 一紀 (UEDA, Kazuki)

1. 「情報・メディアの法と倫理」

私たちが生きるSociety5.0時代では、「情報やメディアに関わる法・倫理」はますます重要になっています。本講義では、これらの基本となる理念や考え方を学びます。



2. 「AI時代における“メディア”のあり方を考える」

フェイクニュース、ディープフェイク、偽情報、陰謀論…。デジタルな言論空間の歪みに対して、社会はどう立ち向かうべきでしょうか？本講義では、“メディア”をキーワードとして、法や政策的な観点からサイバースペースをいかに設計していくべきかを考えます。

歯科衛生学科 出前講義

▶ 金山 圭一 (KANAYAMA, Keiichi)

「シャーロックホームズになろう」

観察力が高い人は医療者にとって憧れです。一瞬見ただけで、患者さんの心や抱えている問題まで読み通すとか。シャーロックホームズはワトソン博士と初めて会った時、アフガニスタンから負傷して戻った軍医と瞬時に言い当てました。この出前講義では、優れた医療者になるための「観る力・聴く力・物語る力」をアート作品を使って磨くレッスンをします。



▶ 小林 由佳梨 (KOBAYASHI, Yukari)

「お口と全身の健康の密な関係」



現在、お口の健康はさまざまな全身疾患に影響を与えることが分かってきています。一生健康で楽しく過ごすためには、お口を清潔に保つことやお口の機能を守ることが欠かせないのです。この講義ではお口の健康が具体的にどのような病気と関わっているのか、お口のトラブルをどのように予防していけばいいのかについてお話します。

▶ 鈴木 桂子 (SUZUKI, Keiko)

「健康と健口」

最近巷でとかく話題になる「糖質制限」。そもそも糖質って何でしょう。糖質はダイエットの敵でしょうか？お口の健康と絡めて、歯科衛生士兼管理栄養士としてわかりやすくお話します。



▶ 中村 和美 (NAKAMURA, Kazumi)

「プラークコントロールで『健口』に!!」



子どものむし歯ができるメカニズムの始まりは、むし歯菌の感染です。主に親から子へ家族内で感染します。将来お父さん、お母さんになる君達(中高生)が自分の口の中を健康にすることは、自分自身のためになるだけでなく未来の子ども達の健口のためにもなるのです。君達と未来の子ども達のために、今からできる最先端の方法を伝授いたします。

▶ 野口 有紀 (NOGUCHI, Yuki)

「歯の健康を守ることが体の健康を守る」

歯を失う原因の多くは、むし歯や歯周病によるものです。口や歯の役割は、食べるだけでなく、話す、呼吸する、表情をつくるなどとても大切です。一生自分の歯で「元気に笑顔で会話ができる」「おいしく食事を食べることができる」ように、お口の健康を守る方法について最新の科学的根拠に基づいて、具体的にお話をします。



▶ 松原 ちあき (MATSUBARA, Chiaki)

「口腔機能と食支援」



オーラルフレイルは、口の機能の健常な状態と口の機能低下との間にある状態で、将来の要介護認定のリスクとの関連が高いことが知られています。食べることや話すことにかかせない口腔機能について、さまざまなライフステージにあわせた歯科的対応についてお話します。

▶ 山本 智美 (YAMAMOTO, Tomomi)

「むし歯や歯肉炎(歯周病)を予防しよう！」

むし歯や歯肉炎(歯周病)は、毎日の生活習慣と密接に関係しています。しかし、だからこそ病気になる前に予防可能な病気でもあるのです。そこで、むし歯や歯肉炎(歯周病)を予防するための知識、方法を学び、皆さんが生涯を通じ健康なお口で過ごせるよう応援します。



▶ 吉田 直樹 (YOSHIDA, Naoki)

「今から行おう歯周病予防」



う蝕(むし歯)と歯周病は、口の2大疾患と言われており、歯を失ってしまう原因としても、1位と2位になっています。特に、中高年以降では、歯周病が1位となっています。中学生や高校生では、重度の歯周病患者は、少ないため、歯周病に対する意識があまりないことが多いのですが、正しい知識と予防法を身につけることが将来のためにも重要です。

社会福祉学科 出前講義

▶ 江原 勝幸 (EBARA, Katsuyuki)

「災害時に高齢者や障がい者などの生活はどうなる？」

防災対策の出発点は、災害で自分や家族の生活がどうなるのかの問題意識。次に、災害で自宅や学校などにどんな被害が想定されているのかを知ること。そして、ハンディのある高齢者や障がい者などの生活はどうなる、自分にも何かできることはないかを考えます。



▶ 音山 裕宣 (OTOYAMA, Hironobu)

「社会的養育とは何か」



こども家庭庁は、社会的養護を「保護者のない児童や保護者に監護させることが適当でない児童を公的責任で社会的に養育し、保護するとともに養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと」と定義しています。対象となる子どもは全国で約42,000人もいます。社会的に養育するとはどのようなことなのか考えます。

▶ 加藤 恵美 (KATO, Emi)

「社会福祉に関心がある方へー社会福祉学を学ぼう！ー」

社会福祉学が何を目指しているのか、どのような学問なのかをはじめとして、社会福祉の専門職が身につけるべき力を静岡県立短大社会福祉学科でどのように学べるかお話ししたいと思います。社会福祉学にふれられる漫画や書籍、映画もご紹介します。



▶ 久保 英樹 (KUBO, Hideki)

「エゴグラムからのぞく、ソーシャルワークの世界」

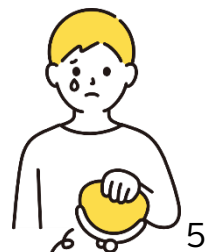


対人援助職であるソーシャルワーカーには、「自己覚知」が求められます。自己覚知とは、自分自身の心の反応や感情、思考、価値観について客観的に知ることを指します。エゴグラムを使った簡単な心理チェックで自分の心の傾向をのぞいてみませんか？どのような場面で自分が力を発揮できるのか一緒に考えてみましょう。

▶ 中澤 秀一 (NAKAZAWA, Shuichi)

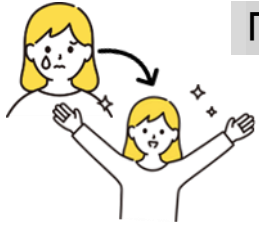
「貧困ってなんだ？」

貧困という言葉からどんなことをイメージしますか？一般的にイメージされるものと実際の貧困とは少し違います。食べ物や住む場所が無くて困っていることももちろん貧困ですが、生活することができても、「習い事に通えない」と



か「旅行に行けない」とかも貧困になることがあります。これを「相対的貧困」と呼んでいます。新しい貧困の概念について学んでみませんか。

▶ 松平 千佳 (MATSUDAIRA, Chika)



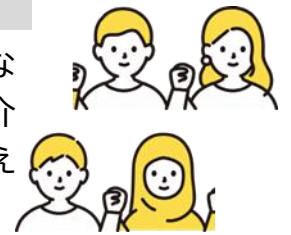
「ハイリスクの子どもたちと遊びによる支援 ホスピタル・プレイ入門」

遊びは優れた支援方法にもなります。遊びを通してハイリスクの子どもたちも健やかに成長することができます。遊びとは何かを考えながら、遊びを用いた支援方法を楽しく学びましょう。

▶ 安 瓊伊 (AHN, Kyungyee)

「多文化共生社会と介護」

私たちは多くの国から来た外国人と一緒に暮らしています。介護が必要になったお隣さんは外国人かもしれません。他国に住んでいて認知症や病気で介護が必要になったとき、生活する上で困ったことや必要な支援について考えてみませんか？



▶ 大石 桂子 (OISHI, Keiko)



「歩いて出かけようー移動の介護技術を学ぼうー」

私たちは、行きたい場所へ、行きたいときに、自分の選んだ方法で目的地に向かいます。生活をするうえで、様々な目的を達成するためにも“移動”はとても重要です。この講座では、「立つ・歩く」ことの基礎知識を学んだうえで、移動に役立つ介護技術を体験します。講義と演習で実施します。

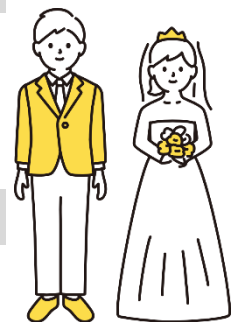
▶ 奥田 都子 (OKUDA, Miyako)

1. 「結婚のメリット/デメリットを考える」

未婚化が進んでいます。なぜ結婚しないのか、結婚しない人が増えるとどうなるのか、結婚するならどんな関係が良いと思うか？統計データを活用しながら考えましょう。

2. 「いくらかかるの？家族の暮らし」

衣食住や子育て、住宅取得、老後の生活にいくら必要なのか？家族のライフステージごとに生活を支えるお金について学びましょう。



▶ 尾崎 剛志 (OZAKI, Takeshi)



「『しょうがい』と私たち」

私たちは普段、自分のことをどのように見ているのでしょうか。また自分を取り囲む人をどのように見て、自分自身が周りからどのように見られていると思っているのでしょうか。そこに実は「しょうがい」を考えるヒントが隠れています。

▶ 木林 身江子 (KIBAYASHI, Mieko)

「健康に暮らすための睡眠」

毎日を元気に過ごすためには質の良い睡眠が欠かせません。健康と睡眠の関係、質の良い睡眠のためのセルフケア、高齢者の睡眠の問題と介護職ができることなどについてお話しします。子どもから高齢者まで、年齢を問わず大切な眠りについて考えてみましょう。



▶ 鈴木 俊文 (SUZUKI, Toshifumi)

1. 「便利で不便な福祉用具のひみつ」

福祉用具は、生活を支援するために欠かすことができない道具です。障害などに応じて工夫される福祉用具は、単に使いやすいだけではない重要な「ねらい」が隠されています。この講座では、実際に使用されている様々な福祉用具に触れながら、福祉用具の「便利」と「不便」のひみつを、みなさんと一緒に発見します。



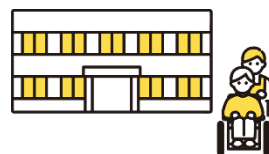
2. 「災害と福祉」

地震大国といわれる日本、近年では、毎年豪雨災害も発生しています。このような中、社会福祉士や介護福祉士などが福祉支援を担う「災害福祉支援チーム」の活躍が注目されています。この講座では、災害と福祉の関係を学びながら、こどもから高齢者まで、幅広い年齢のひとたちで行う避難について考えます。

▶ 高木 剛 (TAKAGI, Tsuyoshi)

「職業としての介護」

介護は誰にでもできると思われがちですが、決してそのようなことはありません。高齢者や障害者の生活に対する思いを受け止め、根拠に基づいた介護を計画的に実践する能力が求められます。介護とは何か、介護と看護の違い、専門職と職業倫理、根拠に基づいた介護、将来の可能性などについて一緒に考えましょう。



▶ 濱口 晋 (HAMAGUCHI, Susumu)

「言葉の不自由な人への接し方を学ぼう」

言葉の出るしくみをわかりやすく解説し、言語障害の原因とケアについての基本的な知識を伝えます。また、言葉が不自由でも、周囲の人とわかりあっていくために、お互いに何が大切かを考えます。



こども学科 出前講義

※ いずれの講座も、講義(前半)と演習(後半)によって構成されています。

▶ 小林 佐知子 (KOBAYASHI, Sachiko)

「子どもの心の発達とは？」

乳幼児の心の発達と大人のかかわり方について学習しましょう。乳幼児期は心が急速に発達します。この時期の発達は、将来の学習や生活の土台になっていきます。この大切な時期に、周囲の大人はどのように関わるとよいのか、心理学の知識をお伝えします。



▶ 菊地 篤子 (KIKUCHI, Atsuko)

「子どもとともに生活する」



子どもの生活が整うことは、豊かで健やかな成長につながります。そして、子どもの生活を整えるのは、子どもと共に過ごす大人の役割でもあります。「基本的生活習慣」をキーワードに、大人も子どもも、日々の生活を振り返りながら、子どもにとって望ましい生活の在り方について、一緒に学びましょう。

▶ 松浦 崇 (MATSUURA, Takashi)

「子どもと社会問題」

社会には、貧困や虐待、差別など、さまざまな困難を抱えながら生活する子どもたちがいます。現代の子どもたちをめぐって、どのような社会問題があるのでしょうか。問題の原因や背景、そして、支援のための取り組みについて、一緒に考えていきましょう。



▶ 及川 直樹 (OIKAWA, Naoki)

「子どもと運動」



皆さんは体を動かすことが好きですか？子どもは体を動かして遊ぶ中で様々な動きを身に付け、運動能力を高めていきます。乳幼児期に体を動かして遊ぶことは、とても大切です。子ども向けの運動遊びを実際に体験しながら、遊びの特性や運動発達の実態・特徴を学びましょう。

▶ 山本 学 (YAMAMOTO, Manabu)

「子どもと音楽」

子どもは日々の生活の中で、つくり歌や替え歌など自然と音や音楽につながっていく表現を見せてくれます。また自然の音に気がつくなど大人の想像を超えた感性に満ちています。この講座では、そうした子どもたちの音楽表現が、どのように生活の中から生まれ、育まれていくのかを、身近な事例を交え



ながらわかりやすく解説します。後半では、子どもたちに人気の手遊び歌を取り上げ、実際に皆さんと一緒に楽しく覚えていきます。アレンジのコツも紹介します。音楽を通して子どもと心を通わせる時間の楽しさを、ぜひ体感してみてください。

▶ 甲賀 崇史 (KOHGA, Takashi)



「保育学生になったら」

何を勉強するの？実習は楽しい？忙しくてバイトできないってほんと？就職活動いつから始まるの？みんな希望する園に就職できるの？…保育学生になったら、どのような生活を送ることになるのでしょうか。保育学生のリアルをお伝えします。

▶ 崔 美美 (CHOI, Mimi)

「子どもの権利 ～みんな幸せに生きる～」

人権は、人間らしく生きるための権利です。権利とは、ひとりぼっちの自由ではなく、互いの自由を認め合うことです。また、人権は人がそれぞれの資質や能力を生かして自分本来の生き方や成長を可能にする(自己実現)ために必要です。子どもたちが、人間らしく、幸せに生きられ、健康に成長していくために必要なものについて一緒に考えていきましょう。

